

A飼料

好熱菌含有混合飼料

アドバリュー[®]・BP

次世代プロバイオティクス〈好熱菌BP-863〉配合

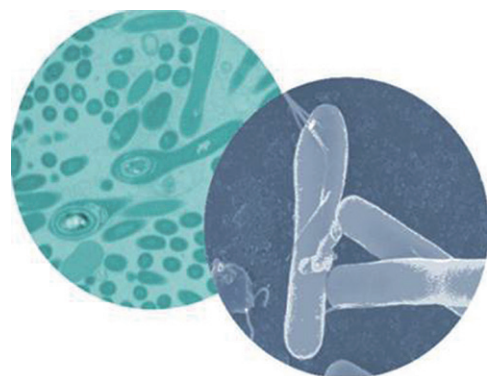
特徴

- 腸内細菌叢が多様化して安定
- 免疫力の調節に寄与
- 体脂肪の蓄積を抑制
- 成長促進
- 堆肥化促進

◎給与方法：母豚、子豚、子牛、ヒナなど……飼料に0.2%添加
肥育豚、成牛、成鶏、ブロイラーなど
……………飼料に0.1%添加

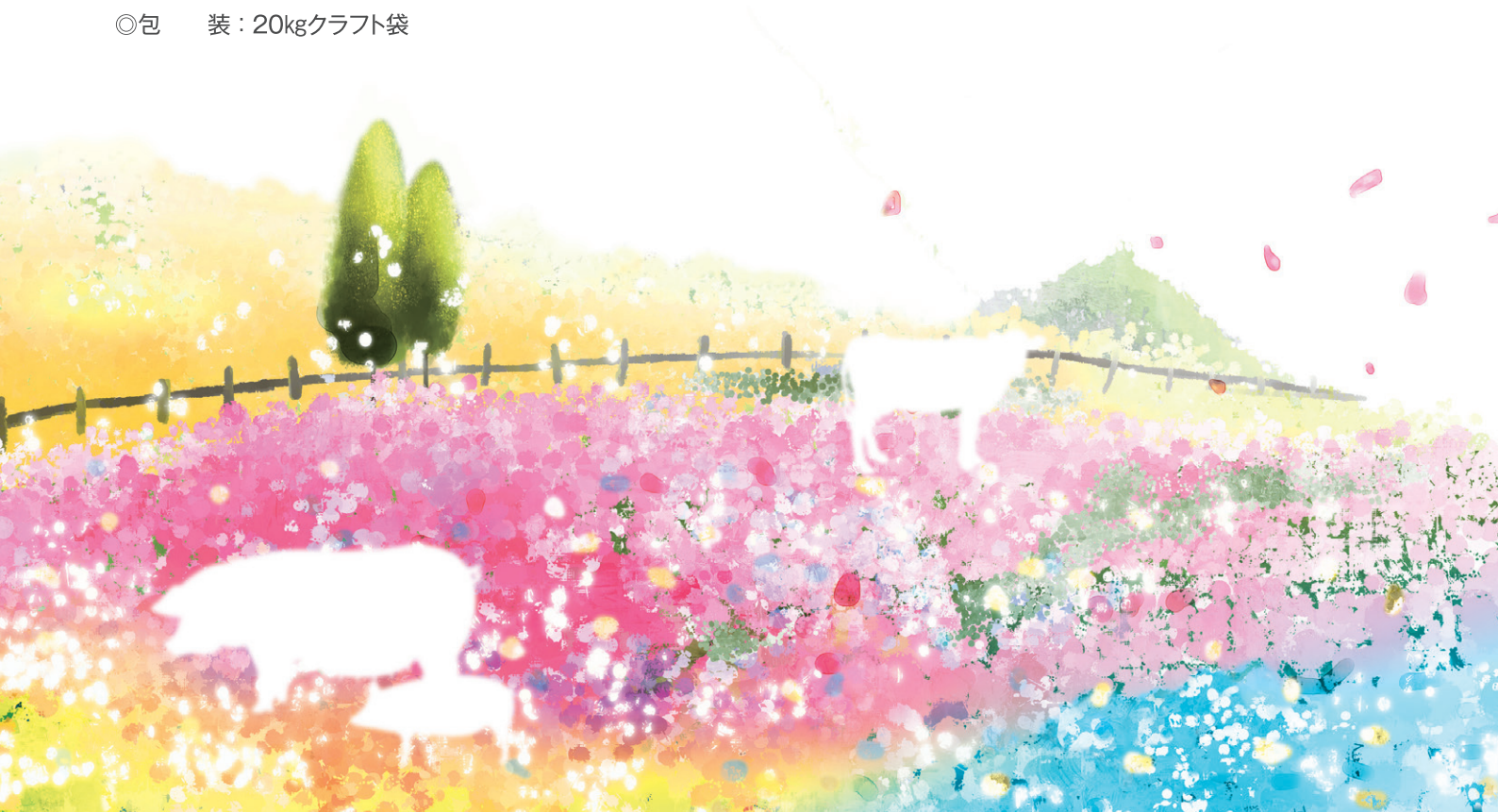
◎原材料名：炭酸カルシウム、米ぬか油かす、馬鈴しょでん粉、
好熱菌BP-863

◎包装：20kgクラフト袋



好熱菌 (BP-863) とは？

千葉大学の宮本博士が発見した新菌
(*Bacillus hisashii*)

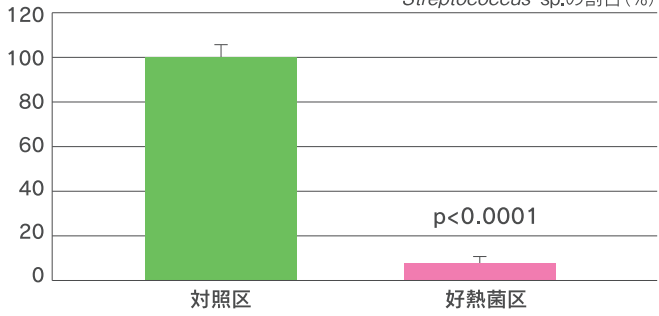


腸内細菌叢が多様化し、特定の菌排泄量が低減

子豚における腸内細菌叢の特徴

BP-863 給与区の増体が対照区に対して顕著に改善したケース

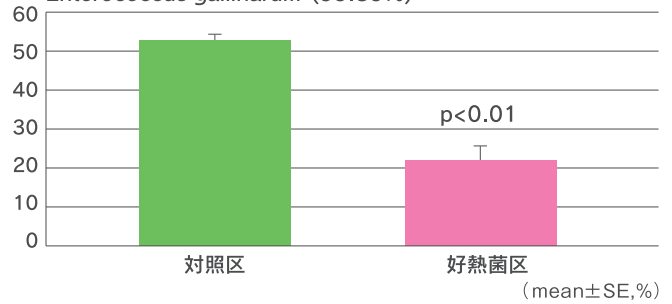
Streptococcus sp.の割合(%)



	対照区	好熱菌区	有意差
多様化率	100.0 ± 4.4	116.5 ± 3.9	0.0237

採卵鶏の腸内細菌叢の網羅的解析

Enterococcus gallinarum (99.39%)



	対照区	好熱菌区	有意差
多様化率	100.0 ± 2.9	134.1 ± 7.1	0.0278

※n=3について: 5~6羽相当のmix/group; サンプルング時期: 18週
 ※総飼育規模: 対照区: n=49、好熱菌区: n=50
 飼育機関: 千葉県畜産総合研究センター 解析協力: 東京大学院(新領域)

背脂肪厚が薄くなり、ロース芯面積が増加

去勢豚の豚肉の脂身の厚さの比較

対照区

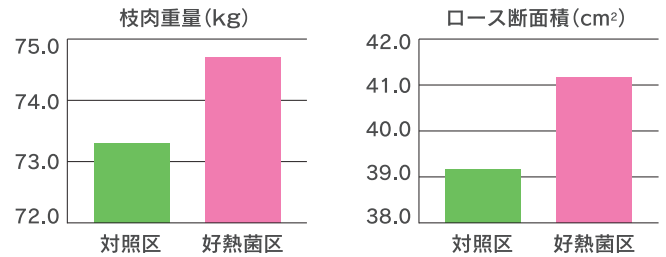
好熱菌区



対照区に対し、好熱菌区でロースの脂身が薄くなる傾向

去勢豚の枝肉重量とロース断面積に与える影響

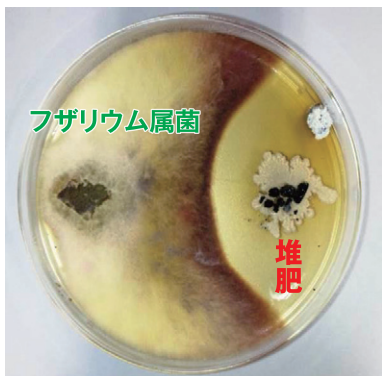
	試験頭数	開始体重 kg	留置日数	終了時体重 kg	枝肉重量 kg	ロース断面積 cm ²	背脂肪厚 cm	格付け 上=1 中=2
好熱菌区	13	51.3	71	110.7	74.7	41.16	2.11	1.17
対照区	12	51.5	71	109.8	73.3	39.16	2.23	1.50



去勢豚における再現性を複数農場で確認中

堆肥化が安定し、アンモニアの発生が低減

畜糞の高温発酵堆肥化と安定した静菌効果



畜糞堆肥を速やかに高温発酵化(70~90℃)
早い完熟化と機能の向上

高温発酵飼料を給与した養豚場の揮発性アンモニア濃度の推移

条件: 母豚150頭一貫飼育 数値(アンモニア濃度相対値): 100は1~2ppm相当
 日本畜産学会第109回大会 2008年3月報告より抜粋

豚舎内臭気測定 (N型)

